

(19)日本国特許庁(JP)

(12)登録実用新案公報(U)

(11)登録番号
実用新案登録第3243211号
(U3243211)

(45)発行日 令和5年8月10日(2023.8.10)

(24)登録日 令和5年8月2日(2023.8.2)

(51)国際特許分類	F I
A 4 5 F 3/04 (2006.01)	A 4 5 F 3/04 3 0 0
A 4 1 D 1/04 (2006.01)	A 4 1 D 1/04 D
A 4 1 D 15/04 (2006.01)	A 4 1 D 15/04 A

評価書の請求 未請求 請求項の数 2 O L (全4頁)

(21)出願番号 実願2023-1981(U2023-1981)	(73)実用新案権者 520318225
(22)出願日 令和5年6月7日(2023.6.7)	株式会社グランドサム
	大阪府茨木市東中条町11番5-406号
	(74)代理人 100121924
	弁理士 後藤 昌彦
	(72)考案者 今井 潤也
	大阪府茨木市東中条町11番5-406号
	株式会社グランドサム内

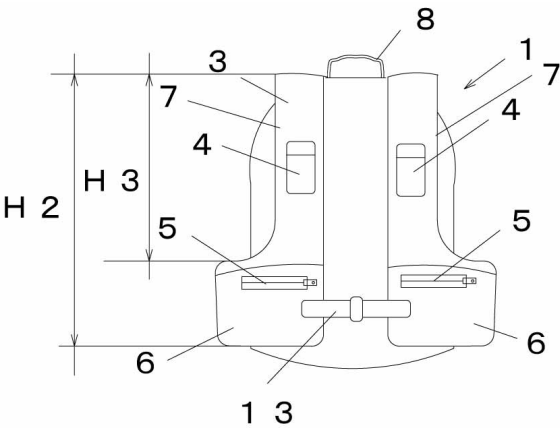
(54)【考案の名称】 ベスト兼リュックサック

(57)【要約】 (修正有)

【課題】リュックサックに荷物を十分収納することができるとともに、ベストに設けたポケットにスマートフォンなどの小物を収納して、必要な時にすぐに取り出すことができるようにするベスト兼リュックサックを提供する。

【解決手段】リュックサックの肩紐部分がベスト形状になっているベスト兼リュックサックであり、前記ベストの丈が少なくとも成人男性の肩から腰までの長さになっており、リュックサックの丈がベストと略同一であり、ベストに小物等の収納部が少なくとも1つ以上設けられている。

【選択図】図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

リュックサックの肩紐部分がベスト形状になっているベスト兼リュックサックにおいて、前記ベストの丈が少なくとも成人男性の肩から腰までの長さになっており、リュックサックの丈がベストと略同一であり、ベストに小物等の収納部が少なくとも 1 つ以上設けられていることを特徴とするベスト兼リュックサック。

【請求項 2】

前記ベストにおける腕を通す穴の丈が前記ベストの丈の 3 分の 2 以上になっていることを特徴とする

10

請求項 1 に記載のベスト兼リュックサック。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案はベスト兼リュックサックに関する。

【背景技術】**【0002】**

従来より、ベストあるいはコートと、背負い袋、即ち、リュックサックやバッグとが組合わされているベスト兼リュックサックが種々提案されている。

【先行技術文献】

20

【特許文献】**【0003】**

【特許文献 1】実用新案登録第 3114637 号公報

【特許文献 2】特開平 10-262731 号公報

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】****【0004】**

しかし特許文献 1 に記載されているベスト兼リュックサックは前身頃に着脱自在のポーチを設けており、ベストに比してリュックサックが小さくなっているためリュックサック自体の収納力が低いという欠点がある。また特許文献 1 及び特許文献 2 に共通する課題として、ベスト自体に小物等の収納部分が設けられていないため、すべてリュックサックあるいは前身頃に設けたポーチに収納せざるを得ず、すぐに取り出しにくいなど、機能性に欠けるという欠点がある。

30

【0005】

上述の如き課題を解決するため、本考案は、リュックサックの肩紐部分がベスト形状になっているベスト兼リュックサックにおいて、前記ベストの丈が少なくとも成人男性の肩から腰までの長さになっており、リュックサックの丈がベストと略同一であり、ベストに小物等の収納部が少なくとも 1 つ以上設けられていることを特徴とする。

また、前記ベストにおける腕を通す穴の丈を前記ベストの丈の 3 分の 2 以上にしてもよい。

40

【考案の効果】**【0006】**

本考案のベスト兼リュックサックによれば、リュックサックを十分大きくすることができリュックサックに荷物を十分収納することができるとともに、ベストに設けたポケットにスマートフォンなどの小物を収納して、必要な時にすぐに取り出すことができるため機能性も向上する。

また、腕を通す穴の丈が十分大きいので、成人男性でも楽に腕を通すことができ着脱が容易なベスト兼リュックサックが得られる。

【図面の簡単な説明】**【0007】**

50

【図 1】本考案の実施形態のベスト兼リュックサックを示す正面図である。

【図 2】本考案の実施形態のベスト兼リュックサックを示す背面図である。

【図 3】本考案の実施形態のベスト兼リュックサックを示す左側面図である。

【考案を実施するための形態】

【0008】

以下、図を参照しながら本考案の実施形態のベスト兼リュックサックについて説明する。

【0009】

本実施形態のベスト兼リュックサック 1 は、図 1 に示すようにリュックサック 2 のかたひもに相当する部分がベスト 3 になっている。ベスト兼リュックサック 1 の材質はナイロンやポリエステル等の公知のプラスチックである。ベスト 3 には図 1 に示すように両側上方にスマートフォン等の小物を収納するポケット 4 , 4 が設けられているとともに、両側下方にファスナー 5 , 5 が設けられている。ファスナー 5 , 5 が設けられた部分には財布等、ポケット 3 , 3 には入りきらない大き目の物が収納できる収納部 6 , 6 が設けられている。また、ベスト 2 の両側上方には腕を通すための穴 7 , 7 が設けられている。さらに、ベスト 2 の両側前方にはバンド 1 3 が設けられている。

10

【0010】

リュックサック 2 は図 2 に示すように、略直方体形状をしており、収納スペースとなる空間部 1 2 が設けられているとともに、上方中央部に持ち手 8 が設けられている。またリュックサック 2 にはファスナー 9 が設けられ、当該ファスナー 9 を左右に操作することによりリュックサック 2 の上方が開閉できるようになっている。さらにリュックサック 2 の中央部には上下方向にファスナー 1 0 が設けられ、当該ファスナー 1 0 を上下方向に操作することによりリュックサック 1 の中央部が開閉する。このリュックサック 2 には図 3 に示すように、リュックサック 2 の本体とは別の収納部 1 1 が設けられており、ファスナー 1 を操作して開け、収納部 1 1 にもタオル等の物品を収納できるようになっている。

20

【0011】

次に、リュックサック 2 とベスト 3 の大きさについて説明する。

【0012】

図 3 に示すように、リュックサック 2 の丈 H 1 は、ベスト 3 の丈 H 2 とほぼ同一となっている。また、ベスト 3 の丈 H 2 は図示しないが成人男性（日本人の成人男性の平均座高：90 . 6 c m）の肩から腰までの長さとはほぼ同一となっている。さらに、ベスト 3 の上方に設けられた、腕を通すための穴 7 の丈 H 3 はベスト 3 の丈 H 2 の 2 / 3 以上となっている。

30

【0013】

上述のような寸法関係により、リュックサック 2 には十分な収納スペースを確保できるとともに、成人男性でも楽に穴 7 に腕を通すことができるためベスト 3 の着脱が容易にできる。

【0014】

上述のベスト兼リュックサック 2 を旅行や作業等で使用する際は、リュックサック 2 のファスナー 9 またはファスナー 1 0 を操作して開け、必要な物品を空間部 1 2 や収納部 1 1 に収納しファスナー 9 またはファスナー 1 0 を閉じる。その後ベスト 3 の穴 7 に腕を通してベスト 3 を着用し、適宜バンド 1 3 を締めてベスト 3 の前方を固定する。そしてベスト 3 に設けられたポケット 4 , 4 や収納部 6 , 6 にスマートフォンや財布などを収納する。収納部 6 , 6 はファスナー 5 , 5 を横方向に操作して上部を開放して収納することができる。またベスト兼リュックサック 2 を脱ぐ際は穴 7 に再び腕を通してベスト 3 を脱げばよい。

40

【0015】

なお、本考案は上記実施形態に限定されるものではなく、適宜変更が可能である。例えばリュックサック 2 はベスト 2 と着脱自在にしてもよいし、リュックサック 2 やベスト 3 の素材に撥水加工を施してもよい。また、ベスト 3 の肩に触れる部分にスポンジ等の緩衝材を設けてもよい。さらに、リュックサック 2 の側面下方にペットボトルを収納するポケ

50

ットを設けてもよい。

【符号の説明】

【 0 0 1 6 】

1：ベスト兼リュックサック

2：リュックサック

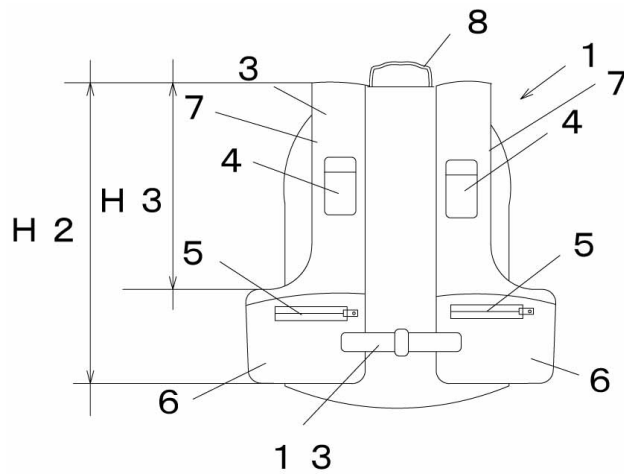
4：ポケット

6：収納部

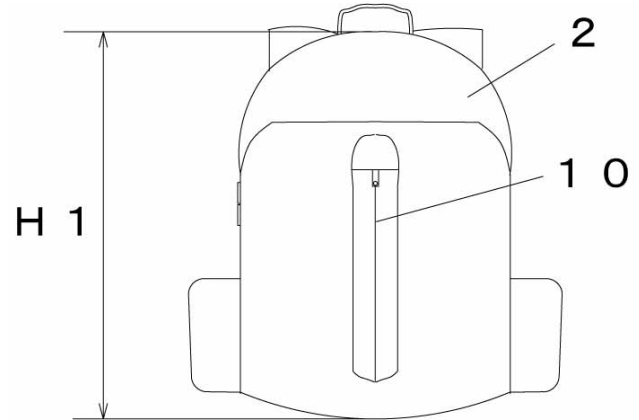
7：穴

【図面】

【図 1】



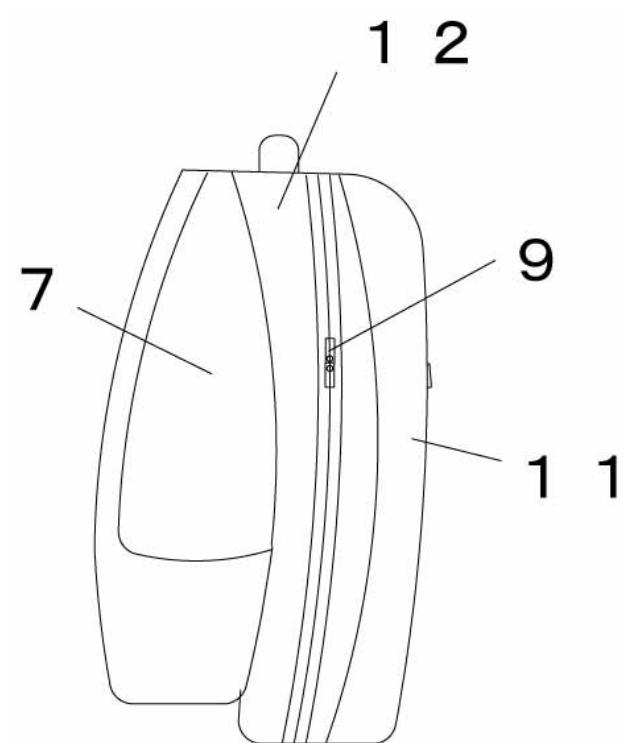
【図 2】



10

20

【図 3】



30

40

50